

会 報

昭和56年度 日本醸酵工学会大会

昭和56年度大会は、去る11月19日から21日までの3日間、日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）において開催された。会場は第1会場（講堂）、第2会場（特別教室）、第3会場（第2教室）および第4会場（C教室）にわかれて231題の研究発表が行なわれた。すなわち醸造、微生物代謝・生理、微生物育種、廃液処理、生物化学工学、酵素および酵素工学、醸酵生産の一般講演と醸酵プロセスにおけるコンピュータの利用、バイオマス・バイオフェューエル、環境と微生物、酵素工学、醸造における流通・製成の新技术の各シンポジウムならびに文部省環境科学特別研究領域班との環境浄化技術および発酵工業協会とのアミノ酸核酸の各シンポジウムを共催で行ない熱心な討論が行なわれた。

大会第1日目の午後5時10分からミキサー（会員懇

談会）が行なわれた。テーブルには、賛助会員の寄贈による清酒、ビール、ワイン、ウイスキー、ジュース、コーラ等の飲物やお菓子、オードブル、チーズ等のおつまみが盛沢山に並べられ、午後7時までなごやかな懇談であった。

大会第2日目は、授賞式および受賞講演が行なわれた。まず福井会長のあいさつの後、田口授賞選考委員から江田賞受賞者の菅間誠之助氏および岡崎直人氏について、外村授賞選考委員から斎藤賞受賞者の木下晋一氏について、永井授賞選考委員から照井賞受賞者の加藤陽氏についてそれぞれ選考経過ならびに業績について報告があり受賞者にそれぞれ賞牌、副賞（金一封）が贈呈された。

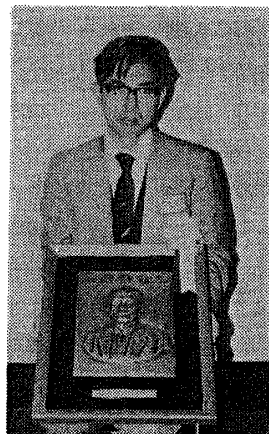
なお、同日午後5時30分から同研修所において180余名参加の懇親会が盛大に行なわれた。



江田賞
菅間 誠之助氏



江田賞
岡崎 直人氏



斎藤賞
木下 晋一氏



照井賞
加藤 陽氏

理 事 会 議 事 録

- 1 日 時 昭和56年11月18日（水）3時～5時
- 2 場 所 レストランパレス会議室（大阪市北区梅田1-12-39）
- 3 出席者 福井 三郎, 妹尾 四郎, 田口 久治, 千畑 一郎, 堀江 雄, 永井 史郎, 岡田 弘輔, 清水 祥一, 竹村 成三, 外村 健三, 山田 秀明, 山田 靖宙, 矢野 圭司

委任状 7名

4 議事の経過および結果

第1号議事 昭和56年度事業, 編集および会計中間報告

- イ 田口久治庶務担当理事は, 資料p. 1～2にもとづいて事業活動, 会議開催状況および会員異動状況について報告した。
- ロ 山田靖宙編集担当理事は, 資料p. 3～4にもとづいて原稿受付状況, 月別受付原稿と掲載状況, 投稿数と掲載数および和文誌投稿状況について報告した。
また, 昭和57年度のトピックス委員9名を委嘱したことを報告した。
- ハ 岡田弘輔会計担当理事は, 資料p. 5にもとづいて9月末日現在の収入および支出について報告

した。

第2号議事 創立60周年記念事業中間報告

- イ 募金関係 黒木事務局長（妹尾総務委員長）は, 資料にもとづいて募金および臨時会費の申込み状況を報告した。
- ロ 記念出版関係 田口記念出版委員長は, 記念出版の原稿受付状況について説明し, 年内に出版社に原稿を委ねる予定であると報告した。
- ハ 記念講演関係 福井会長は, 第4回応用微生物遺伝国際シンポジウム終了後の昭和57年6月14～15日に, 同シンポジウム出席者を含め, 内外の著名な学者を十数名招待し記念講演会を開催する計画が提案され承認された。

第3号議事 新入会員の承認

正会員63名, 学生会員36名および団体会員4社の入会申請について検討した結果, 全員の入会を承認した。

第4号議事 その他

- イ 役員および評議員の他に「参与」を設けることについて検討した。
- ロ 西日本地区（中国, 四国, 九州）の支部を広島に設置することが承認された。
- ハ 授賞規定の改正にあたり, 福井, 妹尾, 田口, 大嶋, 岡田, 山田（秀）の6氏を草案委員に任命した。

評 議 員 会 議 事 録

- 1 日 時 昭和56年11月20日（金）12時～13時
- 2 場 所 日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）
- 3 出席者 合葉 修一氏他29名
委任状による者 21名
陪席者 福井会長他6名
定款第26条の規定により, 原田篤也氏を議長に選出し, 定足数を確認の上議事に入る。

4 議事の経過および結果

第1号議事 昭和56年度事業, 編集および会計 中間報告

- イ 田口久治庶務担当理事は, 資料p. 1～2にもとづいて事業活動, 会議開催状況および会員異動状況について報告した。
- ロ 山田靖宙編集担当理事は, 資料p. 3にもとづいて原稿受付状況, 月別受付原稿と掲載状況および投稿数と掲載数について報告した。

また, 昭和57年度のトピックス委員9名を委嘱したことを報告した。

- ハ 岡田弘輔会計担当理事は, 資料p. 4にもとづいて9月末日現在の収入および支出について報告した。

第2号議事 創立60周年記念事業 中間報告

- イ 募金関係 妹尾総務委員長は, 資料にもとづいて募金および臨時会費の申込み状況を報告した。
- ロ 記念出版関係 田口記念出版委員長は, 記念出版の原稿受付状況について説明し, 年内に出版社に原稿を委ねる予定であると報告した。
- ハ 記念講演関係 福井会長は, 第4回応用微生物遺伝国際シンポジウム終了後の昭和57年6月14～15日に, 同シンポジウム出席者を含め, 内外の著名な学者を十数名招待し記念講演会を開催する予定であると報告した。

編 集 委 員 会 議 事 録

- 1 日 時 昭和56年11月19日(木)12時～13時
 - 2 場 所 日本生命中之島研修所(大阪市北区中之島4-3-43)
 - 3 出席者 福井会長他 14名
委任状 10名
陪席者 原島 編集幹事他 5名
 - 4 議事の経過および結果
学会誌の編集状況および編集方針
- イ 山田靖宙編集担当理事は、資料p. 1～2 にもとづいて原稿受付状況、月別受付原稿と掲載状況、投稿数と掲載数および和文誌投稿状況について報告した。この中でとくに、和文誌への投稿数の減少傾向を指摘した。
- ロ 和文誌の充実のため、新たに総合論文および方法論的な解説記事の掲載について審議した結果、今後検討することになった。
- ハ SI 単位系の移行について、本誌にその概略の解説を掲載することにした。また、将来 SI 単位に移行することを決定した。
- ニ 昭和57年度のトピックス委員9名の委嘱を報告した。